



# 鶴が丘だより

東京都町田市三輪緑山二丁目2133-1  
医療法人社団鶴水会館が丘ガーデンホスピタル  
院長 永田 實男  
電話 044 (988) 3121 代

## 年のはじめに



設立40周年を迎えて

院長 永田 實男  
副院長 永田 晶子

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。  
患者様、ご家族の皆様、そして  
お世話になっております各関係機  
関の皆様には、あらためて旧年中  
のご厚情を感謝いたします。  
また、昨年の東日本大震災で被  
災された方々には、あらためて心  
からお見舞い申し上げます。  
今年が佳き一年でありますよう  
に、心より申し上げます。

## しん

震災、

そして新なる価値観へ

これほど日本が困難にみまわ

れたのは終戦後初めてではなかつた  
でも、気がかりでなりません。今

## ○その時の病院は：



当院では震度5弱。幸い大きな被害はありませんでした。余震も続くのが念のため、患者様に安全な場所へ避難して頂き、人員を確認しなから皆で一晩を過ごしました。不安で立ちまわらぬ患者様を抱えて避難したり、止まったエレベーターの代わりに職員がバケツソリで食事を運んだり。職員は遠路を徒歩で出勤。自転車は往復4時間かけて来てくれる者もおりました。患者様の安心と疲弊した職員のため、と機転を利かせました。災害後すぐに泊まり込む準備をして出勤してくれました。看護職員、徒歩でメンバースタッフを送り届けてくれたデイケアスタッフ、限られた電カの中、病棟ホールで歌をうたったりしながら患者様の不安軽減に努めてくれた作業療法士達など、スタッフの心意気を肌で感じる貴重な機会となりました。ありがとうございました。皆の底力を頼もしく、有難く感じていきます。



日頃の避難訓練のみならず、被災訓練も必要であると痛感しておられます。食料備蓄の充実、ライフラインの早急な復旧、自家発電や井戸水等の確実な運用等より充実させてまいります。

## ○患者様の変化



患者様は、という病状により様々な変化がございました。急性期病棟の患者様は当初家族の安否を気にする程度でしたが、テレビやラジオの情報を入手につれて、パニックや不安焦燥を呈す方が増えました。メディアの伝え方は実に大膽な影響を与えます。慢性期病棟の方は、直後は逆にかし、徐々に身体不調や不穏に至る方がいらつしやりました。感情が平板化していても不安は漠然と肌で感じ、感情として表出しな部分何らかの形で身体に影響を及ぼすのです。災害後は一見穏やかにな方もありますが、十分な配慮と心のケアが必要とします。

外来でも、長らく何とか自立して地域生活をしてきた方が、限界を感じ入院される方が多くなりました。自信を取り戻していらつしやります。

ます。焦らず、あわてず、あきらめず、は大事ですわね。

○あいためて感いすること

住まうること、この世に存在することのありがたみを、痛烈に感じ入る機会もありました。現代社会において、原点に立ち戻り、引き算ではなくプラス思考で、自分のがまいることを感謝しながら、とつづつ積み上げていく考え方は分かっていてもなかなか実践できないものです。何がを失って、必す何かを得て再び立ち上がりたい。傷つくばかりでは辛すぎます。震災を通じて、何が今後につながる前向きな価値観を得たいと思ひます。

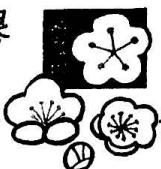


今年度は300人のちが入院され、

○40周年を迎えて

当院は1971年4月1日に開院しました。おかげさまで昨年40周年を迎えることができました。これらひとみのご利用下さる患者様、ご家族の皆様、ご協力いただいたりして、各関係機関の皆様のご支援によるものです。あらためて感謝申し上げます。

○精神医療の日々の実践努力の結果



299人のちが退院されました。外來は一日あたり平均91人、デイケアは一日あたり約50人でした。前述のような社会の変化に対応するため、これまでの方角の治療プログラムを充実させた。精神保健福祉士等のスタッフを増員したり、認知症病棟を立ち上げるなどの対策を講じてまいりました。それだけでなく、従来のノーマライゼーションの一端として、病棟内での退院応援ミーティング、服薬指導プログラム、お薬勉強会、ご家族のエンパワメントをはかる、丘の上の家族の集い、ご家族教室などをたゆまず続けて参りました。より、内容の充実をはかっています。その他にも文化祭や盆踊り、ロビーコンサートなど、地域と病棟をつなぐ取り組みも行っています。

単なる治療の場ではなく、心癒めるものの憩いの場に、当院を位直ぐけていただけけるよう、努力を続けてまいります。

40周年を迎え、気持ちもあらたにまた気を引き締め、職員一同精神医療に邁進していく所存です。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げます。

